

2025 年度

学校名 静岡市立清水浜田小学校

対象学年 4 年生

① 学習指導案

プログラム	No.5「地域カルタをつくろう」
単元名 (全10時間)	浜田の町の美しさやよさを広めるカルタをつくろう
学習のねらい	3年、4年の総合的な学習で積み上げてきた学びを、学区の美しさや良さに目を向けてまとめ、学区をより好きになる。
学習内容	1 学習のまとめとなるカルタをどんなものにしたいか話し合う。 2 浜田の町の美しいところ、良さを思い出し、候補を挙げる。必要であれば町散歩を実施する。 3 絵札と読み札の構想を立て、よりよいものをになるように作り上げる。 4 カルタ交流を通して、更にいい形に仕上げていく。
参考資料 準備品 実施場所等	参考となるようなカルタ、 学区地図、クロームブック 教室、浜田小の学区

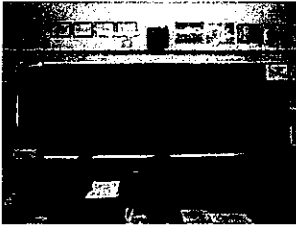
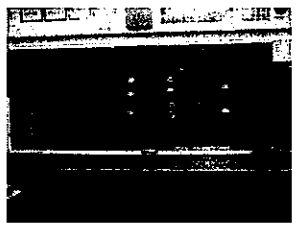

学習の流れ


時間	学習活動	教師の指導	評価
1～ 2	学習のまとめとなるカルタを どんなものにしたいか話し合 う。	2年間の総合的な学習で積み上げ てきたまとめをしよう。	学区の美しさや良さに、 目を向けられるようにす る。
3～ 4	浜田の町の美しいところ、良 さを思い出し、候補を挙げる 必要であれば、町散歩を実施 する。	具体的な場所や建物でもいいこと を伝える。	積極的に美しさや良さを 感じるものを挙げること ができる。
5～ 8	絵札と読み札の構想を立て、 よりよいものをになるように 作り上げる。	きれい、よいだけでなく、思いが 伝わる言葉を考えよう リズムのよさも考えよう。	思いが伝わる言葉を選ぶ ことができる。
9～ 10	カルタ交流を通して、更にいい 形に仕上げていく。	使ってみることで見えてきた課題 を解決しよう。	さらによりよいカルタにしよ うと工夫できる。

<留意点> 学校外の活動時には、水分、塩分補給を十分にし、交通安全に気をつける。

② 事業実施報告書詳細

学校名 静岡市立清水浜田小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1~2	教室	2年間の総合的な学習のまとめとなる「地域福祉カルタ」をどんなものにしたいか話し合う。 浜田の町の美しいところ、良さを思い出し、候補を挙げる。		3年生「HAMADA A HISTORY TIME TRAVEL」 4年生「Colorful Well-being ship for ALL」の活動で心に残っていることはたくさんある。 いいかたをつかっていきたい。
3~4	教室	市販の完成されたカードで遊んでみる。 遊んでよかった点を自分たちのカードに取り入れる。		読み札は「575」のリズムで聞こえるような文にしたい。字は大きく太くする。読み仮名をふる。紹介コメントの欄を作りたい。 取り札はカラフルに、ていねいに絵を描く。建物や体験の様子を描く。
		必要であれば、町散歩を実施する。	放課後の時間を使って、自主的散歩	
5~7	教室	読み札と取り札の割り当てを決めよう。 読み札と取り札の構想を立て、よりよいものをになるように作り上げる。		4年生は23人なので、46枚の読み札と取り札を作るから、1人2つのひらがなを作ることになるね。 「575」に聞こえる文も、よりよい物を考えていこう。

8	教室 学習室	できあがった読み札、 取り札の原稿をスキャ ンして、ラベルシール に印刷しよう。		恋路で描いたり、 色を濃く塗ったの でとてもきれいに 印刷されている。
9	教室	ラベルシールをかるた の台紙に貼って、かる たを完成させよう。		ラベルシールをて いねいに台紙に貼 ろう。
10	教室	できあがった「地域福 祉かるた」で遊んでみ よう。		とってもいいかる たができてうれし い。

## ② 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>2年間でやってきた総合の活動をしっかりとふり返らせて、かるたに描きたい出来事や建物をたくさん出させた。</p> <p>市販の完成されたかるた3種類で遊ばせて、自分たちのかるたに取り入れたい良さを見つけることができた。</p> <p>子どもたち同士で、かるたに表す事からも2つのひらがなも選ばせた。</p> <p>読み札の「575」で聞こえる文は、3種類書かせて1番良いものを採用させた。</p> <p>取り札の絵の色は濃く、はっきりとぬらせた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>かるたの台紙をどんな物にしたらいいのか悩んだ。薄すぎず、厚すぎず、丈夫な物がなかなか見つからなかった。最終的には、ネットで「無地かるた」という台紙を購入して使ったが、それはとてもよかった。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>2年間、とても楽しい総合を計画し、取り組んできたので、子どもたちの印象に残っていることが多く、46枚のカードでは足りないくらいの物、場所、活動が出てきた。</p> <p>イラストを描いたりすることが好きな子が多く、かるたの取り札はとてもレベルが高い物が短時間でできあがった。</p> <p>読み札の「575」のリズムに聞こえる文章も3種類ほどは書かせたので、友だち同士どれがいいか聞き合ったり、アドバイスをもらったりするような姿が見られた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>3年生「HAMADA HISTORY TIME TRAVEL」では校外学習を21回、4年生「Colorful Well-being ship for ALL」では校外活動や見学、体験、交流会を34回組み込んできたので、子どもたちの心に残っているものはどんなことなのか、とても興味があったが、たくさん事がらが出てきたことや、読み札に使われた文章から、いい体験として残っていることがわかりうれしかった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>やはりいい活動経験をしてきた子たちは、かるた作りにもとても意欲的だった。中学年の34年という時期は特に、校外の活動や、見学、体験、交流会などを積極的に組んでいくべき。3年時に学区の町を調べ、くわしくなり、地域の方の話をたくさん聞き、地域のお店にお邪魔したことが、かるたの内容に生きていた。4年生の福祉体験の内容もかるたに組み込めたこともとてもよかったと感じる。</p>



2025年度

学校名 静岡市立清水浜田小学校

対象学年 6年生

① 学習指導案

プログラム	No.9「思い出いっぱいわたしたちのみち」
単元名 (全10時間)	卒業プロジェクト！！6年間通い続けた通学路の思い出をポスターにしよう
学習のねらい	卒業式を控えた6年生が、6年間通い続けた通学路に着目し、自分の思い出をポスターにする活動を通して、保護者や地域に支えられてきたことや見守られてきたことを実感する。
学習内容	1 通学路にどんな思い出があるかをグループで話し合おう。 2 帰り道のポスターを作ろう。 3 保護者に発表しよう。
参考資料 準備品 実施場所等	・モデルプログラムにある児童の作品数点 ・学区地図 ・クロームブック ・コラボノート ・教室 ・浜田小学校の学区

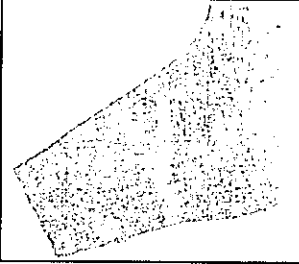

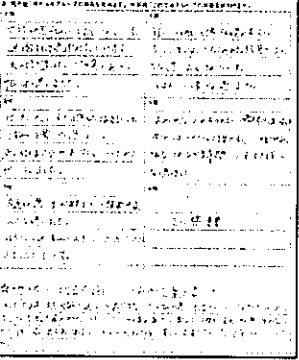
学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1～ 2 3	・自分の帰り道の思い出を友達と話し合おう。 ・作品例を見てどんなポスターにしたいか考えよう。	・グループで自分たちの帰り道について話し合いをしよう。 ・感謝をキーワードにしながら、ポスターを作るテーマを作ろう。	
4～ 7	・下校中に写真を撮ろう。 ・自分が紹介したい場所のポスターを作ろう。	・コラボノートを使って、みんなの作品を見ながらブラッシュアップしていく。	・選んだ写真や言葉が自分の伝えたいことを表現できているかどうか。
8～ 9 10	・発表会の練習をしよう。 ・思い出発表会をしよう。	・何を強調して伝えるのかを考えよう。 ・保護者に向けて思い出が伝えられる発表にしよう。	・伝えたいことを保護者に伝えられているかどうか。

<留意点>学校外の活動時には、教員が引率して交通安全に配慮する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 静岡市立清水浜田小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1~3	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の帰り道の思い出を友達と話し合おう。</li> <li>→話し合った上で、みんなの帰り道を保護者の人に伝えようという目的意識をもつ。</li> <li>・作品例を見て、どんなポスターにしたいか考えよう。</li> <li>→1・2時間目で行った導入と作品例を見て、どんなポスターを作っていくかイメージをもつ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの思い出があり、思い出の話に共感や感嘆の声が出ていた。</li> <li>・作品例を見て、その写真の場所のことは知らないけれど、良い思い出だったということが伝わるポスターにしたいという思いをもっていた。</li> </ul>
4~7	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が紹介したい場所のポスターを作ろう。</li> <li>→コラボノートを使って、みんなの作品を見ながら自分のポスターをブラッシュアップしていく。</li> <li>→グループで読み合っていて、思い出の帰り道の良さが伝わるように友達にアドバイスする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラボノートを利用し、他の子供の作品を見ながらブラッシュアップしていた。</li> <li>・友達同士でアドバイスをすることが自然とできた。</li> <li>・同じコースでグループを作ったので、場所のことを分かった上でアドバイスしていた。</li> </ul>
8~10	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会練習をしよう。</li> <li>→グループ内で、発表の打ち合わせと練習をして、保護者の人に伝わるように準備する。</li> <li>・発表会をしよう。</li> <li>→保護者に向けて思い出が伝えられる発表を目指す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表する順番やクロームブックを操作する担当を決めるなど、協働しながら進めた。</li> <li>・最後の地域の方への言葉には、感謝や地域に対する愛着を感じている様子であった。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>帰り道が同じコースの児童同士で班を編成し、同じ道を通っていても違う見方や感じ方に気づくようにした。</p> <p>コラボノートを利用して、他の児童の作品を見ながら作成できるように準備した。</p> <p>学校の中だけで終わるのはもったいなかったため、保護者会で保護者に向けて帰り道の思い出を発表する機会を設けた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>本校が単級であり、引率する教員に限りがあること。帰り道のコースによってグループが複数になったため、万全を期すためには、グループ分の教員が必要になる。今回は下校中に担任が引率し、写真を取るという形で行った。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>グループごとの発表をするために、1人1枚紹介するポスターを作るというルールで行った。しかし、たくさんの思い出があったようで子供から「もっと作りたい」という発言があった。</p> <p>発表会では、楽しい思い出や悲しい思い出など多種多様な思い出の発表があった。卒業する1か月前ということもあり、メモや感想には「お世話になった方々に感謝を伝えたい」や「残りの小学校生活を～して過ごしたい」など、卒業に向けた気持ちが高まっていた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>本校は、地域が非常に協力的であり、子供達は地域の温かさに見守られながら成長することができている。その地域の温かさ子供達が見つることができる本プログラムには価値があると感じる。担当教諭も、改めて地域の温かさを感じたと共に、地域全体で子供達を育てていくという巨視的な視点をもつことができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>今後の課題としては、本校の単学級という体制による教員の人数の確保が挙げられる。地域と繋げた活動になるので、地域の方々の協力も仰ぎながら行うことも可能ではないかとも考えている。また、今回は保護者の方々に発表するという形式をとったが、地域の方々にも聞いていただきたいと考えている。地域の方々にとっても児童がこの地域に愛着を感じていることが分かる場というのは、これからの学校と地域との協力にも関わってくる。地域を巻き込みながら、活動を調整していきたい。</p>